



かみ
おか
上岡



窪 窪川から国道381号を大正へ向かう。打井川の長い直線を過ぎ、緩やかな右カーブを行くと上岡である。

現在、約23世帯54人が生活する上岡地区の象徴は、何といたってもそのフォルムの美しい向山沈下橋（通称・上岡沈下橋）である。昭和38年落成のこの橋は、それまでは、対岸にある山林や田畑に行くには渡し船しかなかった地区住民にとって、まさに待望の「夢の架け橋」であった。落成を祝う式典では、地区の人たちがついた餅が次々とまかれ、出席者たちから「もういい、もういい……」とストツプがかかるといふほどであったそうである。それくらい喜びであったと、当時建設にたずさわったという地区の方が教えてくれた。

この橋は、重厚で柔らかかみのあるフォルムの橋脚が特徴である。どっしりとした力強い印象の中にもどこか女性的な柔らかさがある。車を止めて写真を撮っている旅人の気持ちがかかる。

さて、この地区の集会所に面白いものがある。入り口脇のガラス窓のショーケースのようところに、小さな仏様等が飾られている。見たところ、お寺の名残のようであるが、地区の方のお話によれば、これは地区の住民たちが、お遍路さんとして八十八



お遍路の記念が飾ってある集会所

このトンネルに入ると、別世界に繋がっているような、まるで絵本の挿絵のような趣がある。上岡は小さな集落であるが、実に風情豊かな地区である。

カ所を回ったときの記念として持ち寄ったものなのだとか。心を込めて並べられていることが伝わってきて、ついつい見入ってしまう。国道の北側の谷に入ってしまったところに、地区の氏神様「上岡河内神社」がある。さらに行くと、小さな天日塩の製造プラントがあり、景色の中にかわいらしく溶け込んでいる。こんな山間で塩作り？と、不思議に思われるかもしれないが、これは、太平洋でくみ上げた海水を、あえて山間の柔らかかな日差しで乾かしているのだそうだ。

ところで、国道を大正から窪川方面に走っていて、この上岡にさしかかる辺りで右手を見ると、予土線のトンネルがある。入り口（出口でもある）の周囲はいつもきれいに草刈りがされていて、他のトンネルと少し違った印象がある。



上岡河内神社

町のうごき

(8月31日)	人口	前月比	出生	死亡	転入	転出
男	8,906	-7	男 4	15	14	10
女	10,011	-3	女 1	4	15	15
計	18,917	-10	計 5	19	29	25
世帯数	8,790	9	(8月中の届出)			

四万十川の
水質状況

	適正值(mg/l)	9月9日
リン酸	≤ 5.0	測定値以下
硝酸	≤ 0.5	測定値以下
アンモニウム	≤ 5.0	測定値以下
アニオン活性剤	≤ 1.0	0.200
化学的酸素消費量	≤ 10.0	測定値以上

調査：大正（吾川）
資料：四万十高校自然環境部

● 四万十町ホームページアドレス <http://www.town.shimanto.lg.jp/> ●

※広報「四万十町通信」はホームページでも、ご覧いただけます。(pdfファイル)